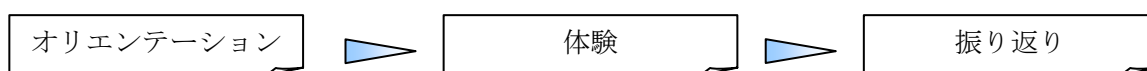


5 プログラムの流れ

当日のプログラムの流れは、次のようになります。

プログラム自体は「振り返り」までですが、その後のプログラムにフィードバックさせるために評価も必要です。



(1) オリエンテーション

自然の中に入っていくルールやマナー、お互いに迷惑をかけない行動のために参加者同士が同じ認識に立ってもらうことがオリエンテーションの目的になります。

ゴミを捨てない、植物を採取しない、物や石を投げない、レンズで太陽を見ない 等々、指導者側は常識と思っていても、参加者がそう感じていない場合は多いものです。特に野外経験が少ない参加者や子どもの場合は基本的な注意も再確認する必要が生じます。逆に、経験豊富な大人や高齢者は一般的な事柄として注意を払わずに行動して、注意を守った者と守らない者でトラブルに発展することもあります。

オリエンテーションをしても、参加者からすると野外の状況がわからない時点で聞いていることもあるので理解できないことが多くあります。また、その場所に着いた時点では忘れていたことも多いものです。屋内の活動から屋外の活動に移る時や、注意が必要な場所や行動に入る前に改めてレクチャーすることもあります。

オリエンテーションでは、事前の下見で得た情報で判断したり情報を付加します。

① 服装と持ち物の確認

- ・ 不適切な服装の者がいないかチェック。いれば予備の服や靴などを供与。

② 健康の確認

- ・ 出発前に健康状態を確認しておく。特に子どもや高齢者については成人に比べ環境への抵抗力や適応力が弱いこと、体調の急変が生じることなどを考慮する。

※どうしても参加したい場合に、無理をしてでも参加しようとする者もいるので、参加を断る場合は行動や時間の確認をする中で、参加できるかどうか納得してもらうなど適切に対応する。

③ 時間と場所の確認

- ・ 行動時間と行動予定を確認しておくことで、トラブル発生時も集合や連絡等の対処がしやすくなる。(行動不能となる、けが人が出る、はぐれる、等々)
- ・ トイレのための時間や場所を確認しておく。

④ 安全な行動のための確認

- ・ 想定される危険とその対処法を伝えておく。

⑤ 準備運動

- ・ 運動量が大きくなる場合や、行動時間が長くなる場合は、準備運動やストレッチを取り入れる。
- ・ 体を動かしていくことでこれから行うことの気持ちの準備にもなる。(少し歩くから脚のストレッチをしておきましょう→普段より歩くんだな、と参加者は思う 等々)

(2) 体験

体験は具体的な例としてP 2 2に示しています。また、資料編に環境教育を実施している施設の一覧を付けています。「はじめに」でも書きましたが、体験はこれでなければならないというものはありません。実施時期や場所によっては複数組み合わせることが可能なものもあり、自由に考えてほしいと思います。

(3) 振り返り

やりっ放しでは忘れてしまいます。復習と同じように、今日覚えたことを繰り返すことで身に付くように、他の人と体験の感想を分かち合います。振り返りは、分かち合いにより心に浸透させることと、自分では気づかなかったことが、他の人との分かち合いにより気づくことがねらいです。

(4) 評価

プログラム実施後は、次回実施するときの参考のために、次の点について評価をしましょう。外部評価として、熱が冷めないうちに振り返りの中で参加者にアンケートを行うのも有効です。

- ・ プログラムの目的は達成されたか。
- ・ 行程や内容にムリやムダがなかったか。
- ・ 注意事項は遵守されたか。

双眼鏡の使い方

1 ヒモの調節

双眼鏡は首にかけます。双眼鏡が胸の位置になるようにひもの長さを調節します。歩くときにぶらつきじゃまになる場合はアウターの中に入れましょう。

2 眼幅の調節

双眼鏡を両手で持ち、本体を動かして左右の接眼レンズの幅を自分の目の幅に合わせます。双眼鏡を覗いた時に視野が一つの円に重なって見えたとところが、自分自身の最適な眼幅です。

3 視度の調節

両目の視力が異なる場合に調節します。双眼鏡には左右のどちらかに視度調整リングがついています。まず、リングがついていない方の右眼(場合によっては左眼)で接眼レンズを覗き、双眼鏡中央にあるピントリングを操作し、対象物がはっきり見えるようにピント調整します。

次に左眼だけで見て視度調整リングを回し対象物がはっきり見えるように調節します。

※ 裏技

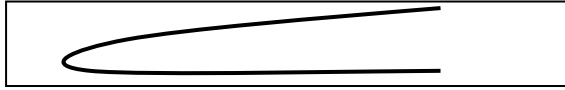
双眼鏡は逆に覗くとルーペ代わりになります。

【 エゾマツ・トドマツの違い 】

①葉の違い

○エゾマツ 葉に線が入っていない。
葉が堅い (突き刺すと痛い)

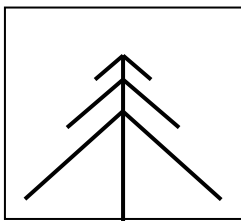
○トドマツ 葉に線が入っている (2つに分かれている)
葉が柔らかい



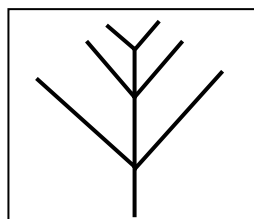
覚え方：エゾに来たときや1人連れ、トドのつまりは2人連れ

②枝の張り方

○エゾマツ 枝が下向き



○トドマツ 枝が上向き



※ 覚え方：天までトドけ

【 クマイザサ 】

クマイザサの中に時々穴があいている場合があります。この穴は「マシンガンホール」と言われ、「ヒカゲチョウ」や「蛾」や「ゾウムシ」の幼虫などが食べた跡とされています。ササは図のように若葉が出るため根本が食べられてこんな穴があきます。

(マシンガンホール)

